

あおもりの木

青森県産材で建てる家

A HOUSE

BUILT FROM

AOMORI PREFECTURE

TIMBER 2021

青森県農林水産部林政課



MADE IN
AOMORI

毎日を愛せる あおもりの木の家

木の家で過ごす日常は、どこか愛おしい。

それは、木のぬくもりある肌触りや清々しい香りが
住む人の心にゆとりをくれるからではないでしょうか。

家と“同郷”の木だったなら、なおさらそう感じるはず。

あおもりの木の家で暮らすということは、何気ない毎日を愛すること。

きっと、そういうこと。



CONTENTS

- P3-4 ライフスタイル
- P5-6 青森県の林業
- P7-12 青森の森のこと、木のこと、家のこと
- P13-20 住宅事例紹介
- P21-40 工務店紹介



あもりの木は 住む人の一生に そっと寄り添う

育った土地の環境になじむから
あもりの木の家での暮らしは
とりわけ快適なものです。
流行りに左右されない
芯の強さや丈夫さがありながら
歳月を重ねるにつれて
深みを増す風合いも魅力。
あもりの木の家は、
そこに住む人の一生に
そっと寄り添ってくれます。



季節や環境に順応 だから居心地がいい

木の家の居心地がいいのは
その調湿効果も理由の一つ。
環境や季節になじんで
自然と長居してしまう
空間を作ってくれるのです。



住む人に優しい 天然の木の家

人に優しい天然の木。
有害な化学物質の発生がなく
ダニやカビも防ぎます。
衝撃吸収の作用もあって
子どもやペットにも安心。





青森の土が、水が、風が 豊かな森をはぐくむ

三方を海に囲まれた青森県。
その名の通り、青々と森が茂り
多様な地形と気象が
スギやヒバ、アカマツなど
豊富な樹種をはぐくみます。

間伐で環境整備 人の手と長い年月が 良質な木を育てる

良質な木材を育てるためには
木の密度を保つ間伐が必要。
手入れされた森林は
太陽の光が地面まで注ぎ
栄養満点の土壌になるのです。
盛んに植林が行われてから
地道に整備すること半世紀以上。
青森の木はじっくり成長し
木材としてちょうど今
最適な時期を迎えています。



地元の木材を使うこと それは地域の自然を 守ること

自然のぬくもりを感じられ
北国の気候に馴染む県産材は
快適な家づくりを叶えます。
育てて利用し、また植えて
森のいのちは巡り続けます。



青森の

森のこと、木のこと、家のこと

10 Aomori

10 fact about aomori forests and trees and house.

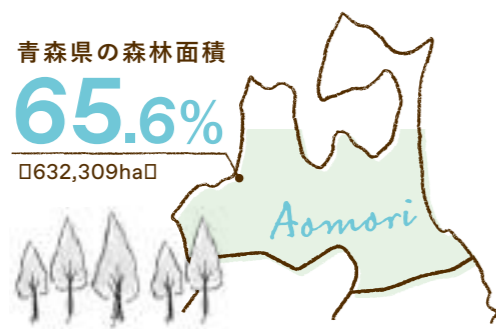


森林の10 Fact about aomori

青森県の森林面積

65.6%

□632,309ha□

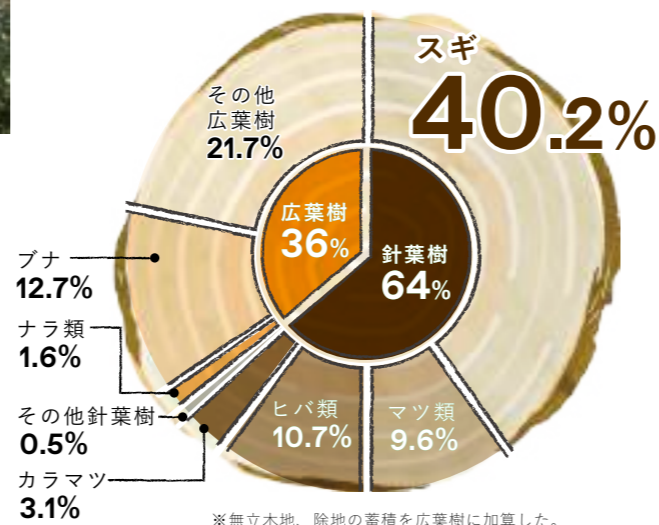


Section /

1 あおもりの木のいろいろ

県土の65%を森林が占めている青森県。そのうち64%が建築材料に適しているスギ、マツ、ヒバなどの針葉樹です。広葉樹で一番多いのはブナ。世界遺産・白神山地には、世界最大級のブナ原生林が広がっています。

(参考データ:青森県ホームページ内「青森県の森林・林業」)



Section /

2 青森を元気にする あおもりの木

青森県は森林面積が全国第9位。県の木に指定されているヒバをはじめ、たくさんの樹種がバランス良く分布しています。建築材料に適している木も豊富。これらの県産材を積極的に家づくりに使うことで、林業・木材産業をはじめとしたさまざまな産業がうるおい、それに伴い地域経済がどんどん元気になっていきます。

現在、青森県の森林は本格的な利用期を迎えています。大きく育った木を伐って使い、新しい苗木を植えて育てるというサイクルが繰り返され、森林の適正な整備が進むことで、土砂崩れや洪水などの災害防止につながり、私たちの健康や安全な暮らしが守られます。



Section /
3 美しい
『スギ』

青森県のスギの資源量は全国有数。冬の厳しい寒さに何十年も耐えて育った青森のスギは、美しい木目と柔らかな色合いが特徴です。肌触りも良く、建築物のほか、家具や建具にも使われ、全国に流通しています。

スギの木コラム

スギは日本で一番多く植えられている木。名称の由来は、真っ直ぐ高く伸びる木を意味する「直ぐ木(すくき)」から来ているといわれています。日本の固有種で、縄文時代から生活に利用されてきた歴史を持ち、50m以上に育った巨木もあります。

用途 構造材全般、内装材、
板材など

Section /
4 頼れる
『青森ヒバ』

青森県には、「木曽ヒノキ」「秋田スギ」と並ぶ日本三大美林の一つである「青森ヒバ」の天然林が広がっており、主に津軽半島と下北半島に分布しています。抗菌、防腐、防虫効果がある成分「ヒノキチオール」が含まれ、木材の優等生と言われるヒバ。すがすがしい香りは、心身をリラックスさせてくれます。家づくりでは、主に土台のほか、お風呂や洗面所などの水回りに多く用いられます。また、建築材としてだけではなく、まな板などの日用品や、木材から抽出したヒバ精油などとして、広く利用されています。



青森ヒバの木コラム

青森の厳しい冬の気候に耐えながら、長い年月をかけて育つ青森ヒバ。青年期を迎えるまでに100年ほどかかります。現在、木材として利用されているヒバは、樹齢およそ200年～250年のものがほとんど。弘前城や斜陽館(五所川原市)などの歴史的建造物にもヒバが使われており、優れた耐久性を証明しています。

用途 構造材(柱、束、土台)、
内装材、板材など

Section /
5 強い
『南部アカマツ』

「南部アカマツ」は、その名の通り主に県南地方に分布しています。曲げ強度が高く、梁に最適です。粘り強さや曲がりの美しさを活かし、神社や仏閣といった歴史的建造物にも使われています。年月が経つにつれて上品なあめ色に変化していくのも、大きな特徴の一つです。

南部アカマツの木
コラム

近年では珍しくなった国産のアカマツ。樹皮が赤いことが名前の由来で、主に内陸部で育ちます。冬の厳しい寒さに耐えて育つ南部アカマツは磨くほどに美しい艶が生まれます。2020年に再建された蕪嶋神社(八戸市)の新社殿にも、南部アカマツが使われました。

用途 構造材(梁、桁、垂木、
母屋)、内装材など

木
の
SUGI
10 fact about aomori

Section / 6

気候になじむ、 あおもりの 木の家

長い年月をかけて青森で育った木は、地元の気候風土によくなじみます。だからこそ、建物に使用され、私たちの生活を彩ってくれるのです。また、地元の木材を家づくりに使うことで、適切な森林環境を守ることができます。そして、木材の輸送に伴うCO₂(二酸化炭素)の排出を減らすことができ、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みにもつながるのです。



Section / 7

冬暖かく、 夏は涼しい木の家

木は、成長するために根から水を吸い上げる管を持っています。木を伐った後、乾燥させることで、この管から水分が抜けて空気の層となり、断熱性や調湿性が高まります。

そのため無垢材の床は、空調機器で暖められた空気をたっぷり含み、真冬に素足で歩いても冷たさを感じません。特にスギは他樹種と比較して空気を含む量が多く、床材として高い人気があります。一方、湿度が高くジメジメとする夏は、木が湿気を吸って室内の湿度を一定に保とうとするため、カラッとした室内環境で快適に過ごすことができます。



Section / 8

木の家と耐震性

木材の性質を生かし、高い耐震性を備えた住宅を建てることができます。実は鉄と比べて、木は強度が高いのです。木と鉄の比強度(同じ重さに対する強さ)は、木は引っ張りが約4倍、圧縮(押し力)は約2倍です。また、地震で建物に加わるエネルギーは、重さに比例して大きくなります。そのため鉄と比べて軽い木材は、地震発生時の揺れが比較的小さく済みます。

Section / 9

自然が香る家

住む人にやすらぎを与えてくれる木の香り。これは、スギやヒバなどの針葉樹が自身を守るために発する精油成分「フィトンチッド」によるものです。木は、伐採されて住宅となった後も、空気中の水分を吸ったり吐いたりしています。そのため、長い年月にわたり爽やかな香りが家全体を包み込み、人々の生活に優しく寄り添ってくれるのです。



家の のじや

10 fact about aomori

Section / 10

こんなところにも青森の木



日本一長い三連太鼓橋 鶴の舞橋

鶴田町の津軽富士見湖には、青森ヒバで作られた、日本一長い三連太鼓橋「鶴の舞橋」が架かっています。岩木山を背にゆるやかなアーチを描く全長300メートルの橋は、鶴が空に舞う姿に見えるとも言われ、多くの人々に愛されています。



伝統工芸品 南部花形組子

青森ヒバの木片を曲線的に加工し、手作業で美しい模様を描く「南部花形組子」は、県南地方の伝統工芸品。和風の建具だけではなく、電気スタンドやティッシュボックス、スマートフォン台などもあり、生活に彩りを添えてくれます。

あおもりの木と 共に暮らしていく

やすらぎのある香りや手触り、優れた機能性、
長く付き合える懐の深さ。

あおもりの木と暮らす人たちは
いったいどんなところに惹かれたのでしょうか。
家づくりのストーリーを紐解きながら、
青森県産材の家の魅力に触れてみませんか。



開放的な空間が広がるリビングの吹き抜けは、お気に入りの場所。

柵は青森県産のスギを使用。天井にはアカマツの梁を現しとしている。

黒をベースにした外観。玄関部分にスギを使い、メリハリをつけた。



HOUSING CASE

01

自分で伐った木が
ずっと生き続ける家

青森市 小山内邸
企業組合 県木住

疲れが癒やされ
優しい気持ちに

家の中に一步入ると、ふんわりと漂うさわやかな木の香り。床や柱、天井などに、主に青森で育ったスギを使った住宅です。「早く帰りたいと思える家ですね」と、施主の小山内さんは笑顔を見せます。一日の疲れが癒やされ、優しい気持ちになれるそうです。

この家のポイントは、リビングの吹き抜けと薪ストーブ。家を建てるにあたり、この2つは小山内さんだけの譲れない希望でした。その願いをかなえた開放的なリビングは、一番のお気に入りの空間です。

また、程良く柔らかいスギの床は、素足で歩くととても気持ちがいいそうです。冬でも冷たく感じることはありません。また、木が適度に湿気をコントロールするため、夏はカラッとしていて快適。「木の家に住み始めたら、寝付きが良くなった気がします」(小山内さん)。

義父の山の木も使用
より一層愛着が湧く

「せつくならば、家づくりに青森で育った木を使いたい」と考えたのは、地元で育った木が、地元の気候風土になじむと考えたからです。「あおもりの木」というとヒバのイメージが強かったようですが、調べていくうちに、スギや南部

アカマツも住宅材として使えることを知り、さまざまな樹種をバランス良く使った木の家を建てることに決めました。

家を支える100本の柱は、奥様のお父様が十和田市に所有している山で育ったスギで作りました。その中の一部は、小山内さん自身がチェーンソーを使って伐採。ダイニングテーブルに使ったアカマツも、この山で伐った木です。思い入れがある分、より一層愛着が湧きます。土台とキッチンカウンターにはヒバを使いました。

木に包まれ、まるで自然の中にいるかのような暖かい雰囲気の家。冬は薪ストーブを焚き、体の芯から暖まりながら、家族で幸せな時間を過ごしています。



ここが
好きです!

ダイニングテーブルは、奥様のお父様が所有する山のアカマツで地元の家具職人が製作した。

ここで
建てました!



企業組合 県木住

〒038-1303 青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
TEL 0172-55-7793 FAX 0172-55-7559
https://www.kenmokujiyu.com/

優しい気持ちに
なれる癒やしの
木の家です



DATA

| | |
|---------|------------------|
| 家族構成 | 夫婦 + 子ども 1人 |
| 使った青森の木 | スギ、青森ヒバ、南部アカマツ |
| 敷地面積 | 188.22㎡ (56.93坪) |
| 延床面積 | 115.11㎡ (34.75坪) |
| 工法・構造 | 木造在来 |
| 竣工年月 | 2020年3月 |
| 工務店 | 企業組合 県木住 |



ドアなどの建具は、主に青森県産のスギを使用した。

天井、柱、梁を見る「現し」にした。天井が高く、開放的に見える。

黒を基調とした外観。入り口部分はスギを使用した。カーポートの上にはウッドデッキを作った。



HOUSING CASE

02

「あおもりの木」の魅力を感じられる家

青森市 上野邸
株式会社 稲見建築設計事務所

地元の木を使うことは環境を守ること

黒を基調としたシックな外観の住宅の中に入ると、多様な「あおもりの木」の魅力を感じられる明るい空間が広がっています。構造体はスギ、ヒバ、アカマツといった、家づくりの定番ともいえる針葉樹。そしてキッチンカウンターや階段などには、サクラ、タモ、センなどの広葉樹を使用しました。天井や柱などの木材を見せる「現し」にし、温かみのある雰囲気になっています。

「使う木がどこから来たのかが分かって、安心感がありますね」。そう話す施主の上野さんの趣味は、山を歩くこと。

1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

そのため、県内の山には多様な樹種の木が育っていることは知っていました。そして、家づくりの素材を考えていくうちに、地元の木を使うことで二酸化炭素の排出量を減らすことができ、環境への配慮につながることはもちろん、家族みんなが健康に暮らせると考え、長年住む家に青森県産材を選んだのです。

経年変化で味わいが深まる無垢材の家

特に無垢材の床は、とても歩き心地が良く、気に入っているそうです。1階はほどよく柔らかいスギ、2階は少し硬めのアカマツにしました。お子さまが床にべたりと座り込んで、楽しそうに遊んで

いるのを見ると、木の家にして本当に良かったと感じるそうです。洗面所やトイレなどの水回りには、腐りにくいヒバを使用しました。ヒバならではの、爽やかな香りが漂っています。

また、この住宅で目を引くのが、カーポートの上に設置した、床にヒバを張った広いウッドデッキ。ここでは家族でバーベキューを楽しんだり、お子さまが走り回って遊んだりしています。

この家を建てて10年以上。時と共に木の色合いに変化が見え、良い具合になじんできています。「無垢材の家は劣化することがありません。傷すらも一種の味わいになると感じています」。上野さんは、そう話してくれました。



ここが好きです！

ウッドデッキは、家族みんなで楽しめる場所。バーベキューをしたり、子どもが遊んだりしている。

ここで建てました！



株式会社 稲見建築設計事務所
〒030-0962 青森市佃1-5-7
TEL 017-742-2636 FAX 017-742-2637
http://www.a173.org/

気に入っています「地産地消の家」



DATA

| | |
|---------|------------------------|
| 家族構成 | 夫婦+子ども3人 |
| 使った青森の木 | スギ、アカマツ、ヒバ、タモ、セン、さくらなど |
| 敷地面積 | 160.92㎡ (48.67坪) |
| 延床面積 | 135.80㎡ (41.07坪) |
| 工法・構造 | 木造在来 |
| 竣工年月 | 2010年7月 |
| 工務店 | 株式会社 稲見建築設計事務所 |



洗面所の壁には、水に強く腐りにくいヒバを使った。床はスギ。

青森県産材でできた集成材を使ったダイニングテーブルは、毎日家族が集う場所。

黒を基調にした、クールなイメージの外観。玄関と屋根の内側に張ったスギの木がアクセントに。

HOUSING CASE

03

外観は黒くてクール
内観は柔らかい雰囲気の家

十和田市 洞内邸
有限会社 岩木建設

地元の木の家で
自然を感じたい

「木の家には、『自然を感じられる』というイメージがありました。家づくりに青森県産材を取り入れたのは、家族のためにも、自然な環境の中で暮らしたいと思ったからです」

施主の洞内さんは、家づくりに「あおもりの木」を取り入れた理由を、こう話してくれました。もともと自然が好きで、趣味はアウトドア。家を建てようと考えてさまざまな住宅展示場を見て回った中で、県産材を使ったモデルハウスの見学をした時、室内に広がる木の温もりに魅力を感じたそうです。

この住宅の外観は、全体的に黒くてクールなイメージ。玄関と屋根の内側に張った地元産のスギがアクセントになっています。そこから一步入った内部には、丈夫なクリを使用。毎日出入りする場所ゆえに、こだわりが見えます。

外観とは対照的に、家の中は柔らかな雰囲気広がっています。リビングの床には、厚さ3cmの地元産スギの無垢材を使用しました。程良く柔らかくて触り心地がいいスギの床は、一年を通して素足で過ごせるほど快適だそうです。また、洗面所の壁には、水に強く、腐りにくいヒバを使用しました。柱の一部には、ケヤキも取り入れています。

夏は湿度が抑えられ
冬は暖かく快適

「県産材を使った家は、湿度が高い夏はカラッとしているし、冬は床暖房を使わなくても十分に暖かくて、とても快適です」と洞内さん。もし傷がついてしまっても、長く住んでいくうちに味わいに変化していくと考えています。

訪れた人から「木のいい香りがする家」と褒められることもあります。「木の家は本当に住み心地がいい。特に、自然環境を好む人や化学物質が苦手な方にお勧めです」（洞内さん）。自然を感じられる快適な住まいには、これからも家族と過ごす幸せな時間が刻まれていきます。



ここが好きです！

スギの床が広がる、温かい雰囲気のリビング。柱にはケヤキを使った。

ここで建てました！



住み心地がいい
最高の木の家です



DATA

| | |
|---------|------------------|
| 家族構成 | 夫婦+子ども2人 |
| 使った青森の木 | 青森ヒバ、スギ、クリ、ケヤキ |
| 敷地面積 | 297.55㎡(120.25坪) |
| 延床面積 | 185.49㎡(56.11坪) |
| 工法・構造 | 木造在来 |
| 竣工年月 | 2020年2月 |
| 工務店 | 有限会社 岩木建設 |

有限会社 岩木建設
〒034-0107 十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL 0176-27-2906 FAX 0176-27-3259
http://iwakinoie.co.jp



あおもりの木と 向き合う匠たち

青森で生まれ育った木と向き合い、木が生き続ける「あおもりの木の家」を手掛ける匠たち。冬の厳しい寒さも、笑顔で幸せに過ごしてほしい。そんな想いを込め、一棟一棟、丁寧に造っています。あなたが持つ、住まいへの夢や希望を、ぜひ家づくりの匠たちに話してください。



津軽地域

- 株式会社稲見
建築設計事務所 …… P23
- 有限会社キーポイント
ホーム …… P24
- 企業組合県木住 …… P25
- 株式会社今工務店 …… P26
- 有限会社桜庭工務店 …… P27
- 有限会社山本プランニング
一級建築士事務所 …… P28

県南地域

- 株式会社イエス住宅 …… P29
- 有限会社岩木建設 …… P30
- 株式会社大山建工 …… P31
- 有限会社久保工務店 …… P32
- 大工舎 …… P33
- 有限会社大坊建設 …… P34
- 有限会社豊川建築工房 …… P35
- バックス株式会社 …… P36
- 有限会社日沢建設 …… P37
- 有限会社檜屋木材店
1952HINOKIYA
一級建築士事務所 …… P38
- 株式会社山口製材所 …… P39
- 渡部環境設計事務所 …… P40



薪ストーブのある
環境に優しい家

県産の無垢材を使い、心が和らぐ木の空間が広がる。室内が乾燥しないよう、暖房は薪ストーブを使っている。

「構造計算で豪雪に負けない家」

地産地消の家づくりで SDGsに取り組む

構造計算をしっかりと行った上で、青森県内で育ったスギなどの無垢材¹を使った家を設計しています。

家づくりに県産材を使うのは、決して特別なことではありません。多くの方が地産地消の家を建てることで、山の環境が整い、木材の運搬などに伴うCO₂(二酸化炭素)の排出量が減り、SDGs(持続可能な開発目標)の達成につながると



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材
 2.BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)/窓やドアなどに、更新する年や金額を情報として持たせて管理し、ライフサイクルコストが見えるようにするシステム
 3.ZEH(ゼロエネルギー住宅)/高断熱、省エネ、太陽光発電などによる「創エネ」を組み合わせて、年間の一次エネルギー消費量がゼロになる住宅

考えています。

私はスギやヒバなどの県産材を、主に住まいを支える構造体に使っています。また、床にはスギを使うことをお勧めしています。暖められた空気をたっぷり含んで逃がさないの、冬でも足元から温かさを感じられるからです。「子どもが楽しそうに歩き回ったり、寝っ転がったりして居心地良さそうにしている」と好評をいただいています。また、周囲の景観や気候風土に馴染むと、外壁に県産材を使うこともあります。

住まいの性能、コストを 数値的根拠で示す

建てる家の省エネ性能、安全性能はどれくらいあるのか。必ず構造計算を行い、

住まいの性能に数値的根拠を付けてお客様に示すことが、私の家づくりの信念です。津軽地方の豪雪に負けない家づくりも、計算をすることが全て。BIM²を取り入れ、ライフサイクルコストも数値で提示しています。また、県産材を使ったZEH³にも取り組んでいます。

大切な家を作るため、住まいへの思いや希望を存分にお話してください。どんなことができるか、一緒に話し合いながら造っていきましょう。



木の息づかいを
感じられる家

柱、天井、壁にスギ、梁にはカラマツを使用。吹き上げ天井にし、開放感のある雰囲気を出した。

愛犬と心豊かに暮らせる家

健康にも良い、 地元の木の家

社名の「キーポイントホーム」は、「木をポイントにした家」をもじって名付けました。モットーは「健康に暮らせる家造り」。地元の気候に長年なじんだ木材を住まいに使うと快適な室内環境ができ、健康状態の向上につながります。そのような家を多数手掛けた経験を基に、愛犬と共に心豊かに暮らせる家づくりも提案しています。私は数年前から犬を飼っていますが、犬にとっても木は気持ちの良い素材。肌触りの良いスギの床に座り込んで、いつもリラックスしています。

2020年、住宅展示場の中にドッグカフェを設けました。ドッグトレーナー、ペット食育士の女性社員が、室内犬のしつけや遊び、食事を提案することが可能

です。また、愛犬と生活する上で生じる家の汚れ、においなどの問題解決に向け、犬の視点に立って原因を探り、アドバイスしています。

家事がしやすい 柔らかなスギの床

私たちが家づくりに使うのは、主に青森県産のスギ。スギの床を使うと、冬は足元から暖かく、夏はカラッとした涼し



さを感じられます。「頭寒足熱」という言葉の通り、足元を温めることは健康にとって大切です。スギは柔らかいため足腰にかかる負担が少なく、「家事がしやすい」との声もいただきました。

「10年経った今でも木の香りに癒やされる」「熟睡できるようになった」。うれしい感想を多数いただいています。家族みんなが健康的に暮らせる心地よい住まいを、私たちがご提案いたします。

03 企業組合 県木住

〒038-1303 青森市浪岡大字徳才子字福田60-2 TEL 0172-55-7793 FAX 0172-55-7559
 [HP] <https://www.kenmokuju.com/> [mail] info@kenmokuju.com

VOICE

代表
佐藤 時彦



連窓から楽しむ
美しい田園風景

スギの床と壁のホタテ漆喰はいずれも地元の素材。安心、安全で温もりのある空間が広がる。

「家族で楽しむ家づくり」

誇りを持って暮らせる 地元の木で建てた家

企業名の通り、青森県産材で住宅を建てる工務店です。県産材以外にも地元の自然素材を使い、住む方が健康で心豊かな生活を送れるような家を建てています。

家づくりに使う木材は、主に県産のスギ。肌に直接触れる床だけでもスギを使うと、心地良さが格段に上がります。熱を逃がさない性質があるので「冬に素足



で歩いて温かい」とのご感想をよくいただきます。また、構造材は土台に青森ヒバ、柱にスギ、梁に南部アカマツ。これらの地元材だけで家を建てられるのは、青森県だけです。「地元の木で建てた家に暮らせて幸せ」と、誇りに思ってくれる方もいました。

自分の手で伐った木が 自分の家で生き続ける

私たちの家づくりの大きな特徴は、お客様と一緒に家を造る、施主体験型メニューを設けていることです。

その中の一つが「わが家の大黒柱を伐ってくる」。実際に私たちと県内の山へ行き、スギの木を1本選び、お客様ご自身でチェーンソーを使って伐り倒します。自分の手で伐った木が、自分の住む家で生き続ける。それにより家に対する

愛着が一層強くなると考えています。また、陸奥湾産ホタテの貝殻を原料にした漆喰を壁に塗る体験もご用意。お子様も参加でき、これまでに多くのご家族がチャレンジしてきました。家族みんなで家を造ったことは、いつまでも思い出に残ります。

家づくりは一生に一度のプロジェクト。お客様には、ぜひ楽しんでほしいです。そのために私たちはお客様にしっかり寄り添い、一緒に家を造り、建てた後も長くお付き合いしていきます。



04 株式会社 今工務所

〒037-0033 五所川原市字鎌谷町504-1 TEL 0173-34-3361 FAX 0173-35-3933
 [HP] <https://www.kon-koum.co.jp/> [mail] 04@kon-koum.co.jp

VOICE

代表取締役
社長
今 謙一



ナチュラルで
優しい雰囲気の家

無垢材を使った規格住宅の一例。自然な色合いに包まれ、家族が健康になれる空間が広がる。

「無垢材の家をリーズナブルに」

安心して暮らせるよう 材料にこだわり

「本物の家づくりでかなう、いい暮らしをあなたへ」をモットーに、これまで多数の住宅を手掛けてきました。「本物」とは、無垢材¹のこと。一生に一度の大きな買い物だからこそ、材料にこだわり、安心して長く住んでいただける家づくりを提案しています。

無垢材で建てる家は、高額であるというイメージがあります。そのため、私たちは多くの方がリーズナブルに無垢材の



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

家を建てられるよう、ある程度の間取りを規格化しました。ご予算や広さに合わせ、数パターン用意しています。もちろん、無垢材を使った注文住宅を建てることも可能です。

地元だからこそ 香り高い青森ヒバを

そしてお客様のご希望があれば、青森県で育った無垢材を適材適所で使用しています。スギは真っ直ぐ伸びる針葉樹なので縦に対する荷重に強く、柱に向いています。そして土台には、水に強く、虫を寄せ付けない青森ヒバ。香り高く優れた特徴を持つ青森ヒバを、地元だからこそコストを抑え、住まいに取り入れることができます。無垢材の家を建てたお



お客様の満足度が最も高いのが、直接肌に触れる床です。冬は暖かく、夏はさらっとして、ストレスを感じません。

「木で作ったこの家の全部が好き」とお話してくれる方もいます。無垢材の家は化学物質が出ないので、健康に暮らすことができますし、お子さまにも安心です。

時と共に落ち着いた風合いに変化していく無垢材の家。傷も付きますが、それも素敵な思い出として残るような家づくりを心掛けています。

05 有限会社 桜庭工務店

〒036-8094 弘前市大字外崎4丁目2-6 TEL 0172-27-4320 FAX 0172-27-4325
 [HP] <http://saku-kou.com/> [mail] sakura52@amber.plala.or.jp

VOICE

代表取締役
桜庭 尚利



雨の日も安心
濡れずに玄関へ

スギを使って建てた2台分のカーポート。車から降りて直接玄関に行けるため、雨の日も安心だ。

「懐かしい空間が広がる家」

住み心地の良さを お客様の目線で追究

長年住み続ける住まいには、何よりも心地良さ、使いやすさが大切。それをお客様の目線に立って追究しながら、青森県産材を使い、職人の仕事が見えるような家を建てています。私が青森の木を使って家を建てる理由は、地元の活性化につながるという思いがあるからです。

使う木材は主にスギ。程良い柔らかさのため、床に使うと足が疲れにくい。また、構造材や化粧材にスギを使うこともあります。土台に使うのは、防腐効果があり、シロアリにも強い青森ヒバ。地元のヒバやスギを使ったシンプルな照明器具も自社で作っています。

私たちが造る木の家は、天井の梁などが



見えるようにしています。爽やかな木の香りが漂う、どこか懐かしい空間が広がり、「寝る時に天井を見ると、穏やかな気持ちになる」と話してくれた方もいました。

住まいに取り入れる 地元・津軽の工芸

私たちの家づくりでは、津軽焼¹や漆塗り²など、住まいに地元の工芸を取り入れることもできます。優しい色合いの津軽焼は手洗い器に。また、木製の玄関ドア



の引き手に漆を塗ると、ちょっとしたアクセントになります。古民家風住宅の内観に合わせ、パネルヒーターに漆を塗ったケースもありました。

住まいに傷や汚れはつきもの。無垢材³は、傷がついたときにその部分だけすぐ取り替えられ、汚れが付いてもそれが趣だと思えるところが魅力的です。私たちは、青森の厳しい冬を快適に過ごせるよう、断熱・気密をしっかり確保した上で、長く愛される住宅造りに取り組んでいきます。

1.津軽焼/中南地域の伝統的な陶芸で、素朴な色合いが特徴。地元産の土と、釉薬の原料としてリンゴの木灰が使われる
 2.漆塗り/ウルシの樹液から作られた塗料を器などに塗る、日本に古くから伝わる技術。青森県では「津軽塗」が有名
 3.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

06 有限会社 山本プランニング 一級建築士事務所

〒030-0944 青森市筒井3丁目17-3 TEL 017-738-8452 FAX 017-738-8492
 [HP] <http://www.actv.ne.jp/~yama-p/> [mail] yamamoto@ya-plan.com

VOICE

代表取締役
山本 潤児



津軽平野に建つ
「菜園の家」

田園風景にとけ込む、青森県産材の家ならではのたたずまい。

「常にリラックスできる家」

入浴しながら楽しめる 青森ヒバの良い香り

私たちが家づくりで最も大切にしているのは、常にリラックスできる空間であること。誰もが長年飽きずに生活できるような間取りを考えた上で、青森で育った木材を、五感で楽しめる工夫をします。

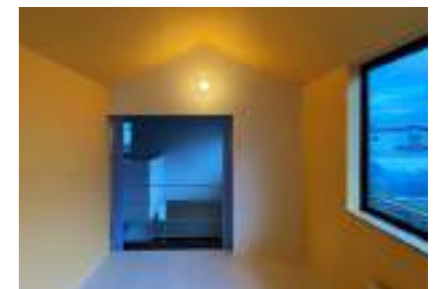
家づくりに使う県産材は、主にヒバ、スギ、マツ。湿気に強いヒバをお風呂の壁や天井に使うと、入浴しながら良い香りが楽しめます。また、柔らかく肌触り



の良いスギの床は、畳のような感覚で素足で使っていただけます。梁には丈夫なマツ。そして青森の厳しい冬を快適に過ごすため、しっかりとした断熱・気密を考えて設計します。

「おうち感」醸し出す 三角形の天井

私たちは、お客様が自分の家に誇りと愛着を持てることを目指して設計しています。津軽地方は豪雪地帯であるため、雪かきや雪庇など、雪に対するストレスが非常に大きい。それを軽減するための方法をアドバイスしながら、スマートで目を引くようなデザインを提案しています。現在私たちが試みているのは、「おうち感」を醸し出す三角形の天井。この形は人に居心地の良さを与えます。



これまでに県産材を使った家を建てたお客様からは「良い香りが漂って落ち着くし、居心地がいい」などの声をいただきました。木を育てる人、伐る人、製材する人。地元の多くの人達が関わった木材を住まいに使うことは、地域産業の活性化にもつながります。機能面はもちろん、社会的な視点から見たお客様の満足度も非常に高い青森県産材。快適に住みながら地域に貢献できる家づくりを、一緒に考えましょう。

07 株式会社 イエス住宅

〒039-1165 八戸市石堂2-29-6 フラールッシュマンション1階
TEL 0178-38-3851 FAX 0178-38-3852
HP <https://www.yes-housing.com/> mail yes.juutaku@air.ocn.ne.jp

VOICE

代表取締役
沖田 高広



木の香りや木目に
癒やされる家

天井から床まで、すべて
青森県産スギ材を使用。
一般的な住宅の3~4倍
の木材を使用している。

木の力を最大限引き出した「呼吸する家」

伊勢神宮にも使われる 「板倉構法」を住まいに

12cm角の柱1本には、ピールの大瓶1本分の水分を吸放湿する力があると言われています。私たちが造るのは、そんな天然の素材が主役の「呼吸する家」。お客様の希望に耳を傾け、理想の住まいを目指します。

主に使用する県産材はスギ。断熱性と調湿性、耐火性¹にも優れています。これらの特長を最も発揮できると注目したのが、「板倉構法」²という伊勢神宮にも使われる伝統構法です。熟練の職人が仕上げる家は木の粘りが活かされ、地震にも強いです。

とはいえ、質の高い木の家を追求すると、手の届かない価格になってしまいます。そこで、私たちは高品質の木材を直



接仕入れ、価格を抑えました。

「快適」「よく眠れる」 愛着沸くマイホーム

「湿度が一定で快適」「木の香りが良く、心地よく眠れる」。県産材で家を建てたお客様からは、好意的な感想が数多く寄せられています。

私自身も県産のスギを使った板倉造りの家に暮らし、期待以上の効果を感じています。夏でもカラッと涼しく、

ほとんどエアコンを付ける必要がありません。断熱材を使っていないのに、冬も床暖房だけで快適。優れた吸放湿効果により湿度は50%前後をキープし、1日約300円の暖房費で家中どこでも暖かく過ごせます。体調も良くなり「生活が変わった」と言っても過言ではありません。

県産材を使った家は経済的で、気候にもマッチしています。月日を経るごとに味わいが増すのも醍醐味です。長く愛着を持てるマイホームの夢を、私たちと一緒にかなえましょう。



1.耐火性/断面が大きい木材の場合、表面は燃えても内部までは達しないため、耐力の低下がゆるやか。(一般財団法人 日本木材センターHPより)
2.板倉構法/溝を掘った柱と柱の間に、横板を落とし込んで壁とする建築手法。

08 有限会社 岩木建設

〒034-0107 十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL 0176-27-2906 FAX 0176-27-3259
HP <http://iwakinoie.co.jp> mail iwaki@sea.plala.or.jp

VOICE

代表取締役
岩木 勝志



木の温もりが
優しく包み込む家

広々としたリビングの天井や階段、床は全て青森県産材。リラックスできる優しい空間が広がる。

青森の木で造る 100年安心の住宅

感じてほしい 地元の木の温もり

「住む人へのやさしさを追求する」。それが私たちの作る「いわきの家」のモットーです。お客様の喜ぶ顔を思い浮かべながら、木材の特徴をよく知る熟練の大工が丁寧に建てています。

青森の木は厳しい冬に長年耐えてきたため、身が締まっていて高品質。私たちが建てる家は、そのような木材を活用した丈夫な「100年安心の住宅」。長さ8mの木材を保管し、いつでも使える状態にしています。短い木を組み合わせることで強度が高くなり、耐震性も向上するからです。

家の土台に使うのは、防虫、抗菌効果がある青森ヒバ。雨が当たる外壁には、

耐朽性のあるクリが最適です。床材には、厚さ3cmに加工した県南地方のスギ。柔らかくて肌触りが良い上、熱を逃がさない性質もあるため、冬でも素足で快適に生活できます。肌に直接触れる床だけでも無垢材¹を使い、地元の木の温もりを感じてほしいです。



一年を通して快適な 長いひさしの「下屋造り」

私たちは、黒石市の「こみせ通り」をヒントにした、長いひさしのある「下屋

造り」も多数手掛けています。夏は強い日差しを遮るので涼しさを保ち、太陽が低い冬は光が入り込むため「エアコンに頼らなくても一年中快適」というご感想をいただいています。

木の家は、だんだんと色合いが深くなっていき、どんなに年数がたっても飽きることがありません。地元で育った木の香りが漂い、心身共にリラックスすることができる地産地消の家づくりをお勧めします。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材



和の心が伝わる 数寄屋造り

青森の木の美しさを活かし、奥ゆかしい空間が広がる数寄屋造りの家。室内からは庭の風景が楽しめる。

匠の技ちりばめた“和の空間”

一本一本違う木の個性 熟練の大工が見極める

住まいの機能性を重視しながら、伝統的な日本建築の美しさも追究し、良質な木材と確かな技術で建てるのが、私たちが手掛ける「大山の家」。そこに使うのは、南部アカマツやスギなど、青森県で育った無垢材¹です。一本一本違う個性の木を熟練の大工が見極め、適材適所で使っています。

冬の厳しい寒さに耐えて育った青森の木は、柔らかな色合いと美しい木目を



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材
 2.数寄屋造り/茶室(=数寄屋)を建てる際の様式を取り入れた、日本の伝統的な建築手法

持っています。お客様はもちろん、全国各地の木を見てきた建築家の方々からも「青森にはこんなにも素晴らしい木があるのか」という驚きの声を、何度もいただきました。

おもてなしの心が 自然と生まれる空間に

私たちが建てる、青森の木の美しさを生かした家には、数々のコンテストで入賞歴がある建築家・前田伸治氏と、青森県内でも優れた技術を持つ中里政義棟梁をはじめとする、当社の大工たちによる匠の技がちりばめられています。また、私たちは「京都伝統建築技術協会」に加盟し、青森県では珍しい数寄屋造り²にも取り組んでいます。

無垢材を使った住宅は、木の優しい香

りが漂い、健やかな毎日を過ごせます。実際に私たちが手掛けた家に住む方々は「身近に木の存在を感じられて住み心地が良いし、時とともに木があめ色に変化していく味わい深さを楽しめる」と話してくださいませ。

住まいはご自身や家族が安らぐ場所であることはもちろん、お客様を招き入れる空間でもあります。品性を大切にしたい和の空間で、おもてなしの心が自然と生まれる家を作り上げるのが、私たちのモットーです。



木の温もり伝わる 自然と共に生きる家

木の自然な色合いが、心を和ませる空間をつくり出している。暖房は薪ストーブを使用。

家に帰りたくなる家

美しく変化する アカマツの床

私たちは無垢材¹を使った、暖かみのある家づくりにこだわりを持っています。無垢材は健康を害する恐れがある化学物質を出さないことはもちろん、耐久性、断熱性にも優れているため、快適な



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

空間で暮らすことができるからです。また、地元の気候風土で長年育った無垢材をふんだんに使った家は、住む人の肌が一番合うと考えています。

特に南部アカマツは、この地域にしかない木材。木目がきれいで、やさしい色合いは、年数が経てば経つほど、美しいあめ色に変化していきます。私たちは、南部アカマツを主に寝室の床材で使用しています。今後は青森ヒバでも同様の床材を作り、さらに多くの皆さまへ、青森の木の魅力を伝えていきます。

女性大工が手掛ける 使い勝手のいい家

私たちは 2020 年度の「あおり産木造住宅コンテスト」で、リフォーム賞を受賞しました。この住宅の洗面・脱衣所の壁は青森ヒバ。お風呂で温まった体を、



爽やかな香りが包み込みます。縁側にはアカマツを使用。「木の温もりを感じながら素足で歩ける家にしたい」というお客様のご希望をかなえる家に仕上げました。

当社には女性大工もいます。住む方にとって使い勝手がいいよう、ちょっとした工夫や優しさを施す手間は惜しみません。目指すものは「家に帰りたくなる家」。「食」にこだわる方は多いですが、「住」にも同じくらいこだわりを持った家づくりを、一緒に考えてみませんか？

シンプルな
アメリカンハウス

木材はアカマツ、スギ、クリを使用。柱や梁などを大胆に見せるように建てた。

お客様の思い、こだわりを形に

地元の無垢材を使った 新築、リフォーム多数

打ち合わせから設計施工まで全て私自身が行う、小回りが利く工務店です。私が手掛ける家は、お客様の思いやこだわりを私がサポートをして作った、お客様の大切な作品。昔ながらの大工の技術を駆使し、お客様の希望に沿って作り上げています。

私は23歳でカナダに渡り、ログビルダー¹をしていました。その後帰国し、群馬で大工修行をして帰郷。地元の工務店に務めた後に独立しました。青森県産の無垢材²を使った家づくりにこだわりを持ち、これまでに新築、リフォームを多数手掛けています。2020年度「あおり産木造住宅コンテスト」では、最優秀賞を受賞しました。

1.ログビルダー/チェーンソーで丸太を刻み、ログハウスを作る職人
2.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

柱や天井の梁を あえて見せる造り

青森県には、家づくりに適した木材が豊富にあります。土台には耐朽性や防虫性に優れるクリ、大黒柱はケヤキ。梁は強度が高く上からの荷重に強い南部アカマツを使い、真っ直ぐ育ったスギは柱に。そして私は、これらの美しい木材を隠さないよう、建物を支える柱や天井の梁などの構造材を見せるように建てています。



無垢材は香りや肌触りが良いことはもちろん、調湿効果もあるので、人間にもペットにも相性がいいです。シックハウス症候群に悩んでいたお客様から「木の家に住んでから、ぐっすり眠れるようになった」という声をいただきました。多くの方が、木の香りの良さやリラックス効果を感じています。

私の自宅は展示場として見学でき、来の方の多くが、無垢材の家の良さを実感しています。ぜひ一度訪れて、魅力を体感してみてください。

目を引く外観の
「人が集う家」

茶色いスギの板壁と黒いガルバリウム鋼板をバランス良く組み合わせ、スマートに仕上げた。

ストーリーのある家

伝統と最新の技術で 冬でも快適な家づくり

「人が集う家」「星降る家」。私たちが手掛ける住宅は、住む方それぞれのストーリーが見える家です。そして最も大切なのは、青森の厳しい冬も、寒くなく快適に過ごせること。私たちは、地元の無垢材¹を使い、木と木を丁寧に組み合わせる伝統構法をベースにしながら、光熱費をできる限り抑えられる最新技術を



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

取り入れた家を、数十年後のランニングコストまでシミュレーションした上で提案しています。

地元で育った木で家を建てると、気候風土にうまく順応できるため長持ちします。私たちが主に使う木材は、天井や床はスギ、梁はカラマツ。時間が経てば経つほど、味わいのある色に変化していくのが無垢材の魅力です。

実績ある建築家による スマートなデザイン

住まいは一生に一度の大きな買い物。だからこそ、デザインも重要です。当社は、建築家紹介システム「BDAC=Style」に加盟しています。そのため、マスメディアなどで取り上げられた実績を持つ建築家が設計した、スマートな外観の住宅を建てることも可能です。

建築家はまず、お客様の希望や生活スタイルなどをヒアリングし、建てる家のテーマを設定します。次に動線や採光、風の通り道などを考え、ストーリー性を持たせた設計図を提案。それを基に、確かな技術を持った自社大工が、地元で育った木をふんだんに使って形にします。



13 有限会社 豊川建築工房 とんち設計事務所

〒034-0088 十和田市西十四番町50-7 TEL 0176-22-1612 FAX 0176-22-1627
HP http://toyokawa-kk.com mail@mail@toyokawa-kk.com

VOICE

代表取締役
豊川 忠幸



家のシンボルは
3本のクリの柱

広々とした空間を、3本の柱が支える家。大きな窓からは、庭に広がる四季折々の風景が楽しめる。

長年たっても大好きな木の家

さまざまな青森の木を 住まいづくりに

青森県産材を用いながら、住宅性能とお客様の生涯支出のバランスを適切に取れる家づくりを提案しています。もともと大工だった私自身が設計を行うほか、ファイナンシャルプランナーの資格も持っていますので、設計から資金のことで、ワンストップできめ細やかな対応が可能です。

私の身内が地元で製材所を営んでいる関係で、住まいづくりに適したさまざまな県産材が手に入ります。何十年も自然乾燥させた材を使うので、建ててから狂いが出ることはありません。

仕入れた丸太は自社で加工し、スギは主に構造体や柱に。床には地元産のサクラを使うことも。サクラは木目が美しい

上、堅いので傷や摩耗に強いです。このように、さまざまな県産材を用いて、木の性質を活かした住宅づくりをしています。



地元だからできる 上質な住まい

自由度の高い設計と、上質な素材、自社大工の丁寧な施工。私たちが作る無垢材¹の家は、長年住み続けることでどんな味が出てきますし、劣化することが

ありません。20年近く前に建てた方は「今でも癒やされる、とても大好きな家」と話してくれました。

もちろん、高気密・高断熱といった住宅性能も重視しており、夏は涼しく、冬は暖かい住環境を生み出します。地元の工務店が地元の木を使って建てるからこそ、ローコストでありながら、上質な住まいが出来上がります。

建築は進化し続けています。長年快適に過ごせる家づくりのため、無垢材¹だけではなく、今後は青森県産のLVL²も柔軟に使っていきたいです。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材
2.LVL(単板積層材)/約4mmの厚さに切り出した木の板を積み重ねて接着・圧縮して作る建材

14 パックス有限会社

〒031-0813 八戸市大字新井田字石動木平1-1 TEL 0178-25-6020 FAX 050-3457-9181
HP http://kenchikugumi.jp mail pacs@sage.ocn.ne.jp

VOICE

一級建築士
大西 昇



地元の自然素材を
駆使した家

構造材はもちろん、建具などにも無垢材を使用。木ならではの温かい雰囲気を感じる。

心安らぐ古民家風リフォーム

青森県で育った木を 適材適所で

一歩足を踏み入ると漂う、ほっとする木の香り。使い込むほどににじみ出る重厚感。私たちが手掛ける住宅は、全て青森県産の無垢材¹のみを使用し、熟練の大工が丁寧に建てています。

健康のことを考え、シックハウス症候群の原因となる化学物質が出ない、自然素材の家を希望する方が増えています。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

それに応えるべく、当社では新築住宅はもちろん、ご予算に合わせ、外観は新築、内部は古民家風のリフォームも提案しています。

土台にはクリ、外壁には雨に強く腐りにくいカラマツ、柱には建築材として適しているスギ。青森県で育った木を、適材適所で使用しています。住む方の希望をヒアリングしながら一級建築士の私自身が設計を行い、それに合わせて土台や柱、床材などを一つ一つ作っていきます。丸太から柱などを切り出した後の木材を加工して、建具や家具を作ったりすることも可能です。

愛着を持って住み続けられる 地産地消の「自分流の家」

現在、古民家風リフォームが人気です。既存の住宅を生かし、便利になった現代



の生活様式に合わせながらも、無垢材の梁や柱を使い、壁には漆喰を塗って古民家のような風合いを醸し出す家は、「住んでいて安らぐ」との声を数多くいただいています。県産材を使った古民家風リフォームは、今後も積極的に取り組んでいきたいです。

青森県には良質な木材が豊富にあります。ぜひ、地元で育った木で、地産地消の健康住宅を建ててみませんか。長年愛着を持って住み続けられる「自分流の家」を、時間をかけて一緒に作りましょう。

15

有限会社 日沢建設

〒039-0317 三戸郡田子町大字山口字山口14 TEL 0179-33-1839 FAX 0179-33-1139
[HP] <http://www.hizawa.co.jp/> [mail] hizawa@hi-net.ne.jp

VOICE

代表
日沢 勇心落ち着くシックな
古民家風住宅

樹齢 100 年以上の青森県産のスギや南部アカマツの無垢材を用い、落ち着く空間に仕上げた。

社寺建築の手法を活かした家づくり

伝統構法を用いた
高性能な住宅づくり

私たちは創業以来、社寺建築を多数手掛けてきました。その経験で積み重ねた伝統構法の知識と、確かな技術を活かした青森県産材の住宅を、県内外で建てています。

社寺建築では、柱に穴を開け、水平方向に木を貫通させる「貫工法」を用います。古くから伝わるこの技術を、時を越えて現代においても駆使し、丈夫で長持ちする住宅を建てるのが、私たちの家づくりの特徴です。このような手法を導入しながら、国が定める高い気密性・断熱性の基準値を満たす高性能な住宅づくりにも取り組んでいます。

使用する木材は主に、この地域で豊富に採れる良質なスギの無垢材¹。構造材

1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

にはもちろん、壁板などの化粧材にも積極的に使用しています。土台には腐りにくいクワ。梁には南部アカマツを使う場合も。床は柔らかいスギが人気ですが、傷が気になる方には堅いナラを使うこともあります。

ユニークな要望にも
柔軟に対応

「木が湿気を吸ったり吐いたりし、室内の空気を自然な状態にしてくれて快適」。お客様からこのような言葉をいた



だきました。また、室内に木の滑り台を作って、2階から1階に降りられるようにしたユニークなケースもあります。完成後は、お子様が笑顔で楽しく遊んでいるそうです。このようなご要望にも柔軟に対応します。

無垢材の家の魅力は、時を重ねるたび見違えるほど味わい深くなること。その中で暮らすお客様の幸せは、私たちの幸せでもあります。今後も伝統構法にこだわり、お客様が笑顔で暮らし続けられる家づくりをしていきます。

16

有限会社檜屋木材店

1952 HINOKIYA 一級建築士事務所

〒031-0081 八戸市柏崎3丁目8-13 TEL 0178-43-3848 FAX 0178-41-1002
[HP] <https://1952hinokiya.net> [mail] 1952hinokiya@gmail.com

VOICE

代表取締役
柁澤 卓馬柔らかな光が
家中を包み込む床は青森ヒバの無垢材。
優しい香りが広がる。

柔らかな光が差し込むモダンな家

材木店だからこそ知る
青森県産材の活かし方

当事務所の母体は、主に青森ヒバを取り扱っている材木店。社名にも冠した1952年、私の曾祖父が下北地方でヒバを使った下駄屋を始めたのが原点です。その後、ヒバが自生していない八戸で、曾祖父と祖父がヒバ材の販売を始めました。そのような背景を持つがゆえ、私たちは地元で育つ木材の長所を良く知っています。

特に青森ヒバはリラックス効果をはじめ、抗菌、防虫効果も期待できる素材。このような優れた特徴を持つ青森ヒバを家の土台にし、柱に地元のスギ、梁に南部アカマツを使って家を建てています。

釘などの金属類を使わずに、木と木を組み合わせる家は、地震で生じる

1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

力を柔軟に受け流すため、丈夫で長持ちします。それに加えて無垢材¹は冬でも暖かく感じられるため、厳しい冬も快適に過ごせます。

家に入るたびに香る
癒やし効果の青森ヒバ

私たちの家づくりのモットーは、このような昔ながらの知恵と、便利になった現代の生活スタイルを組み合わせ、心豊かに暮らせる家を作ること。モダンなデザインで、柔らかな光が室内に広がるよ

うに設計しています。

「家に入るたびに、ヒバの香りに癒やされる」と話してくださるお客様は多いです。また、無垢材の床は肌触りが良くべたつかないので、素足で歩いても気持ちがいいそうです。

時を重ねるほど味わいが出る無垢材は、流行に流されることがありません。私たちは、建てた後のフォローも大切に、お客様の暮らしに長く寄り添う「共に生きる家」をご提案いたします。





庭園の緑を楽しむ
和のたたずまい

室内と庭をつなぐ濡れ縁に、温かみのある無垢材を使用。ゆったりとした気持ちで自然を楽しめるように仕上げた。

木をふんだんに使った昔ながらの家

用途に合わせて 製材して、建てる

1947年に私の父が製材所を立ち上げ、2代目の私が引き継いだ後の1998年、住宅をはじめとする建設事業を開始しました。

私たちが建てるのは、木材をふんだんに使った昔ながらの家。しっかりとした土台を作るのはもちろん、断熱性にもこだわっています。

使用する木材は、青森県産の質の高いスギ。梁に使うのは南部アカマツなどです。長年住む家に使うのは、やはりこの地で生まれ、この地で育った木が一番。気候風土に合っているからです。製材業者として毎日木と向き合っているからこそ、胸を張ってお勧めできます。用途に合わせて製材し、職人がその木の特徴や

質を見極めた上で、見える所には節のない木材を使用することなどを考えながら、丁寧に住まいを建てていきます。



真壁工法で分かる 地元の木の美しさ

木を組み合わせる伝統構法で建てた家は、地震や強風で受ける大きな力を柔軟に受け流すため壊れにくく、安心して住み続けられます。お客様からも、その点

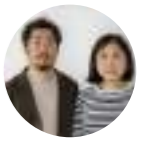
が一番良かったという声が多いです。また、柱や梁が見える真壁工法の家は「木の美しさを堪能できる」と好評です。

無垢材¹からは木の香りや温もりが伝わり、心も体も癒やされます。また、青森ヒバの抗菌効果は有名ですが、スギが持つ精油成分にも抗菌効果が期待できるという研究成果があります。

「1部屋だけ木の部屋にしたい」「県産材を部分的に使いたい」など、ご予算に合わせて対応できます。ぜひご相談ください。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材



地域とつながる
ひさしのある家

多くの人たちが集うことを考えて設計した、接骨院と貸しスペースがある兼用住宅。カーブさせたひさしが特徴的だ。

地域とのつながりが生まれる家

住まいに使うのは 地元の自然素材がベスト

夫婦共に、一級建築士の資格を持つ設計事務所です。2人とも東京生まれですが、野辺地町に妻の実家を設計したことがきっかけで、2016年1月、十和田市に移住しました。

移住後、さまざまな仕事を手掛けるうちに、住まいにはその土地の自然素材を使うことがベストだと考えるようになりました。それによって「地元の素材で建

てた家に住む」という、地域とのつながりが生まれるからです。

木材は、時間の経過とともに、新品にはない味わい深さが出てきます。それはとても価値があること。2年前にリフォームした私たちの事務所兼住宅は、一部の床に地元のスギを使いました。当初は白と赤交じりだった明るい色が、今は経年変化により全体的に薄茶色に落ちています。これからも時間とともにどんな表情に変わるのか、楽しみです。

動線づくりを工夫し コミュニケーション図る

住まいの設計において私たちが最も大切にしていることは、家族のコミュニケーションをしっかりと取れる家であること。廊下を作らず、帰宅後、リビングで家族と顔を合わせてから、それぞれの部



屋に行けるような動線づくりをしています。また、建築家ならではのデザイン性を生かしながら、高気密・高断熱で、冬でも寒くなく快適に過ごせることも重視しています。

木の家に住む方からは「心地よい香りがする」という声が多いほか、訪れた皆さんからの評判も良いとのこと。住む方が「地元にはこんなにいい木がある」と感じる事ができ、家だけではなく地元への愛着にも結びつけられるような家づくりを心掛けています。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

あおりの木

青森県産材で建てる家

A HOUSE BUILT FROM AOMORI
PREFECTURE TIMBER 2021

青森県農林水産部
林政課



MADE IN
AOMORI

青森県林政課 Facebook
青森県林政課 Instagram

